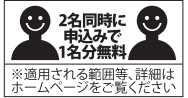


◎10年以上にわたる電子実験ノート(ELN)や研究機器データ管理システム(SDMS)の活用を通じた先進的な研究情報管理体制の構築と運用に携わってきた経験と事例を基に！



# ラボでの電子実験ノート管理・運用における 経験からわかった電子情報管理の問題点と解決

業務分野別の実験データの電子的な移し方残し方 | CSV | 電子署名・監査証跡  
クラウド化 | ELNでの情報管理 | AI活用を見据えて | 具体的運用例 …など



日時	2019年9月26日(木) 10:30~16:30	会場	東京・港区芝 三田NNホール&スペース A+B会議室
受講料	54,000円 ⇒S&T会員 51,300円 ※S&T会員(郵送DM案内あるいはE-mail案内を希望される方)は価格が5%OFFになります。 (定価:本体50,000円+税4,000円 会員:本体47,500円+税3,800円)		資料・昼食付

**講師** ラボコンサルティング(株) 代表取締役社長 薬学博士 島本 哲男 氏  
ELN研究会の発起人(ELN:Electronical LaboNotebook)

**趣旨** 製薬企業研究所における10年以上にわたる電子実験ノート(ELN)や研究機器データ管理システム(SDMS)の活用を通じた先進的な研究情報管理体制の構築と運用に携わってきた経験と事例を基に、研究や生産活動における情報管理体制に求められる姿、昨今の電子的ツールを用いることによる利点、AIの活用を見据えての情報管理における考え方の改革の必要性、さらにはその選定や導入において想定される課題等を紹介する。

<p><b>プログラム</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>情報管理における電子化の重要性             <ol style="list-style-type: none"> <li>1.1 昨今の情報管理における課題と要求される水準</li> <li>1.2 管理手順の電子化への遷移の必然性と重要性</li> <li>1.3 電子化によるData Integrity対応</li> <li>1.4 電子化を検討する際の留意点</li> </ol> </li> <li>電子情報管理システムの種類             <ol style="list-style-type: none"> <li>2.1 電子情報管理システムの種類と位置付け</li> <li>2.2 将来の電子情報管理システムの展望</li> </ol> </li> <li>電子実験ノート展開の歴史             <ol style="list-style-type: none"> <li>3.1 電子実験ノート発生の経緯</li> <li>3.2 展開を加速させた要因</li> <li>3.3 昨今の動向</li> </ol> </li> <li>化学系電子実験ノートの使われ方             <ol style="list-style-type: none"> <li>4.1 化学系研究者の電子実験ノートの使い方</li> <li>4.2 当該研究者に歓迎される各種有用機能</li> <li>4.3 社内化合物法規制照合機能</li> <li>4.4 実際の運用事例</li> </ol> </li> <li>分析業務、品質管理、安全性試験部門にとっての試験情報管理システム             <ol style="list-style-type: none"> <li>5.1 業務の形態や背景の違いによる活用における利点</li> <li>5.2 当該部門における情報管理環境の動向</li> </ol> </li> <li>特性評価系研究者にとっての電子実験ノート             <ol style="list-style-type: none"> <li>6.1 展開に課題を生じさせる背景の活動形態別解析</li> <li>6.2 活用に向けた対策</li> </ol> </li> <li>電子署名・監査証跡の利点と課題             <ol style="list-style-type: none"> <li>7.1 電子署名や監査証跡を記録することによる利点と課題</li> </ol> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>7.2 電子署名の構成の差に基づくシステム内で起こる課題と対応策</li> <li>7.3 特許の観点での電子署名の位置づけ</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>8. 測定機器データの保安全管理             <ol style="list-style-type: none"> <li>8.1 各種測定機器が発行するデータの集中管理の方策</li> <li>8.2 システム化による利点</li> <li>8.3 導入障壁の解決事例</li> <li>8.4 導入後の作業者の意識変化</li> </ol> </li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>9. クラウド系システムの出現             <ol style="list-style-type: none"> <li>9.1 クラウド系システムの特徴</li> <li>9.2 クラウド系システムの境界</li> <li>9.3 クラウドがもたらす新しい環境</li> </ol> </li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>10. AIの活用を見据えた電子情報管理             <ol style="list-style-type: none"> <li>10.1 AI研究を活用する利点</li> <li>10.2 AI研究を進めるための情報収集ツールのありかた</li> </ol> </li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>11. 電子的な情報管理体制がもたらすもの             <ol style="list-style-type: none"> <li>11.1 システム連携によってもたらされる作業者にとっての効率化例</li> <li>11.2 紙と手作業における管理体制では実現できなかった新環境</li> <li>11.3 バリデーションされたシステムにおけるデータ保全水準</li> </ol> </li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>12. 電子情報管理システムの導入・展開における課題と対応策             <ol style="list-style-type: none"> <li>12.1 電子システム導入において多くの組織が陥った課題</li> <li>12.2 体制移行のために必要なコンセプト設定</li> <li>12.3 電子化を円滑に進めるために準備しておくべき環境</li> <li>12.4 手順の標準化・共通化の必要性</li> <li>12.5 導入検討における課題</li> </ol> </li> </ol> <p>□質疑応答・名刺交換□</p>
---	--

■2名同時申込みで1名分無料■  
(1名あたり定価半額の27,000円)

※2名様ともS&T会員登録をいただいた場合に限りです。 ※他の割引は併用できません。  
※同一法人内(グループ会社でも可)による2名同時申込みのみ適用いたします。  
※3名様以上のお申込みの場合、左記1名あたりの金額で受講できます。  
※受講券、請求書は、代表者にご郵送いたします。  
※請求書および領収書は1名様ごとに発行可能です。(通信欄に「請求書1名ごと発行」と記入ください。)

※講師、プログラムの内容が変更になる場合もございます。最新の情報はHPにてご確認ください。 ※申込用紙が複数枚必要な場合等は、本用紙をコピーしてお使いください。

セミナー申込用紙 C190919(電子実験ノート)

会社名 団体名			
部署			
役職	〒		
ふりがな	住所		
氏名			
TEL	FAX		
E-mail	※申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。		

※太枠の中をご記入下さい。 ※□にチェックをご記入ください。  
※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

<b>今後のご案内</b>	
<input type="checkbox"/> E-mail希望・登録済み	S&T会員価格を 適用いたします。 (E-mailアドレス必須)
<input type="checkbox"/> 郵送希望・登録済み	
<input type="checkbox"/> 希望しない	
<b>お支払方法</b>	
<input type="checkbox"/> 銀行振込(振込予定日 月 日)	
<input type="checkbox"/> 当日現金払い	
<b>通信欄</b>	

●受講料について 「2名同時申込みで1名分無料」については上記の注意事項をお読みください。  
●お申込みについて 申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みください。また、当社ホームページからでもお申込みいただけます。お申込みを確認次第、請求書・受講券・会場案内図をお送りします。  
●お支払いについて 受講料は、銀行振込(原則として開催日まで)、もしくは当日現金にてお支払いください。銀行振込の場合、原則として領収書の発行はいたしません。振込手数料はお客様がご負担ください。

●個人情報の取り扱いについて ご記入いただいた個人情報は、事務連絡・発送の他、情報案内等に使用いたします。詳しくはホームページをご覧ください。  
●キャンセル規定 開催日から逆算(営業日:土日・祝祭日等を除く)いたしまして、  
・開催7日前以前でのキャンセル: キャンセル料はいただきません。  
・開催3~6日前でのキャンセル: 受講料の70%  
・開催当日~2日前でのキャンセル: 欠席: 受講料の100%  
※ご注意※ 参加者が最少催行人数に達しない場合など、事情により中止になる場合がございます。

**サイエンス & テクノロジー**  
研究・技術・事業開発のためのセミナー/書籍  
サイエンス&テクノロジー株式会社  
TEL 03-5733-4188 FAX 03-5733-4187  
〒105-0013  
東京都港区浜松町1-2-12 浜松町F-1ビル7F  
http://www.science-t.com